

学生団体「選挙へGO!!」 活動報告

代表：廣瀬陽史



学生団体「選挙へGO!!」とは



政治家動画「政治家TUBE」とは？

- *政治家の方々に思いや政策、若者向けのメッセージを語っていただく動画を我々で撮影し、インターネット上に公開。
- *政治情報サイト「政治山」のご協力をいただき、特設ページで配信。

(<http://seijiyama.jp/special/movie/seijikatube/>)



政治家tube@青森市議選

一回目の撮影

* テーマ:

「任期4年間を振り返って」

* 青森市議会の現職40名中30名の方にご協力をいただいて、撮影し、平成26年8月15日に動画を一齐公開しました。

二回目の撮影

* テーマ:

「自身の思いと公約(マニフェスト)」

* 平成26年10月26日の青森市議選に向けて、立候補予定者を対象として、

44名中36名を撮影、10月17日公開しました。



青森県の学生団体「選挙へGO!!」は、より多くの若者に政治家個人の考え方や政策について知ってもらうことを目的に、「政治家動画」の配信を2012年6月1日に始めました。政治山では、この取り組みを支援するため特設コンテンツ「政治家tube（チューブ）」をオープン、今後も「選挙へGO!!」が撮影した動画を随時、追加します。

青森市議会議員選挙（2014年10月26日投票） 動画一覧

NEWS

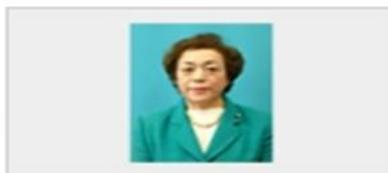
選挙へGO!!では、2014年10月26日投票の青森議市選に向けて、10月15日時点で立候補の意思を確認できている方を対象に、政治家動画企画への協力依頼・撮影を行いました。カメラマークがついている方は、名前や写真をクリックすると、動画とその内容のテキスト、プロフィールが見られます。選挙の参考にぜひご覧ください。



赤木 長義氏
(現/公明党)



秋村 光男氏
(現/市民クラブ)



小豆畑 緑氏
(現/自民党新青会)



天内 慎也氏
(現/日本共産党)



海老名 鉄芳氏
(現/社民党・市民の会)



大矢 保氏
(現/自民党新青会)



奥谷 進氏
(現/新政会)



小倉 尚裕氏
(現/新政会)

関連ワード：海老名鉄芳 青森 青森市



<議員メッセージ全文>

浪岡合併問題が政治の原点

私は市議会議員を務めております浪岡の海老名鉄芳です。私の政治の原点というのは、10年前の青森市との合

名前	海老名 鉄芳 (えびな・てつよし)
会派	社民党・市民の会
生年月日	1950年6月19日

<議員メッセージ全文>

地域の皆が、親子仲良く安心して暮らせるまちづ

くりを

おはようございます。自分の思いと公約について、少しの時間お話しします。青森市について常々思っていることですが、私は、地域の皆が親子仲良く安心して暮らせるまちづくりをしたい、というのが私の政治信条です。

名前	花田 明仁 (はなだ・あきひと)
新旧/会派	現職/新政会
生年月日	1952年7月21日
血液型	O型
好きな言葉	誠実
HP・ブログ	ホームページ

人口減少対策として、中小零細企業の活性化と福祉施設による雇用推進

そのために何をするのかということですが、今、一番青森で大きな問題であるのが、青森市の人口減少です。毎年2000人近くの人口が減っています。これでは、いろいろな計画を立てることができません。これを解決するためには、何が一番大事か。私は、雇用、働く場所だと思っています。親御さんが、子どもたちに、東京の大学に4年、6年せっせと仕送りをして大学を卒業させても、帰ってきて働く場所がない。これではダメなわけです。では、企業の誘致はどうか。大企業の誘致は、ご案内のように、今は中国・ベトナム・カンボジア・アメリカ等々、製造業を始め、どんどん海外へ出ていってしまっています。もちろん、為替のリスクもあります。それから、青森市には雪のハンデもあります。そういったことで、大企業の誘致については、昔から言われていましたが、私は実現不可能だと思っています。では、どうしたらいいのか。中小零細企業が青森市にたくさんあります。特に農林水産業を始め、良い素材がたくさんあるので、これを単なる生産ではなくて、加工して販売まで、いわゆる6次産業となるのが大事だと思っています。今、自民党政権、国の色々な補助・制度がしっかりありますので、中小零細企業、何百とある企業に力を付けて、その企業が1人でも2人でも雇用の枠を持つ、それによって、何百人もの雇用を生むものと考えています。次に大事なものは、老健施設が、東京では

政治家TUBE@青森市議選 ポイント

1. 実績と政策を共に見ることができる

①任期4年間を振り返って(実績)と、②自身のマニフェスト(政策)の二つの動画を見ることで、立候補者のこれまでとこれからを知ることが出来る。

2. 地方選挙でのネット選挙ツールとして活用

情報が少ない地方選挙でこそ「ネット選挙」は重要。